

いくせい食堂・売店からのお知らせ

運営：広島市手をつなぐ育成会

平成24年4月2日より、広島市手をつなぐ育成会単独で、食堂と売店の営業を開始し、多くの皆様にご利用いただき、とても感謝しています。おいしい食事や必要な品物などを提供するとともに、笑顔での対応を心がけていきます。今後とも多くの方にご利用いただけるよう、日々努力してまいりますのでよろしくお祈りいたします。またお店の発展に役立たせていただきたいので、ご意見等がありましたら遠慮なく言っていただくと助かります。

ここで、広島市手をつなぐ育成会について、少し紹介させていただきます。広島市手をつなぐ育成会は、障害のある人の自立と社会参加を支援し、差別されることなく安心して豊かに暮らせる地域づくりを目指す知的障害児・者の親の会です。「いくせい食堂・売店」は育成会に属する一事業所で、障害を持たれている方(主に知的障害の方)の働く場を提供し、その人らしく生きていくための支援を行っています。

お店に来ていただき、少しでも障害を持たれている方と接して、少しでも理解していただければ、本人さんたちも喜ばれますし、社会の中で生きていくための自信にもなります。

皆さまのご理解をいただくとともに、本人さん、支援者ともどもがんばっていますので、温かい目で見守ってください。広島市手をつなぐ育成会のことを詳しく知りたい方はホームページ(<http://h-ikuseikai.or.jp/>)の方もご覧ください。

みなさん、売店でお買い物



ATM利用ご案内

当センターでは、利用者の皆様や職員の利便性の向上のため、1階の売店横に広島信用金庫のATMを設置しています。

広島信用金庫以外にも、広島銀行、もみじ銀行、広島市農協、広島県内他信用金庫のキャッシュカードが利用可能です。

ATMを設置するにあたっての1日の利用件数目安は200件です。平日の8:45～18:00は手数料、無料です。皆様、ぜひご利用ください。

利用可能時間:8:45～19:00



委員会紹介 広報委員会

今回は広報委員会の活動について紹介させていただきます。4月から新メンバーを迎え、委員長の吉田先生を中心に地味に活動しております。

広報委員会では「ホームページの管理」、「広報誌の発行」、「年報の作成」の3つの仕事を行っています。広報誌は職員はもちろん、利用者様やセンターに訪れた方に読んでいただくとともに、地域の医療機関にもお送りしております。発行の際には総合相談室と外来の待合、展示室、各病棟に置いてありますが、早期に無くなる場合もあります。すぐに補充いたしますので、委員会メンバーに声をかけて下さい。



広報委員会メンバー:吉田、北正、中本、迫、梅田、渡邊、木村、中島、島内、徳重、前河内、柏田

今後の行事食

- 7月7日 七夕
- 7月27日 土用の丑の日
- 8月15日 お盆
- 9月17日 敬老の日
- 10月8日 体育の日
- 11月3日 文化の日



土用の丑の日



お盆



敬老の日



文化の日

※食事形態によっては対応できない場合があります。ご了承ください。※写真はイメージです。



—こころ通信—

広島市総合リハビリテーションセンター

〒731-3168広島市安佐南区伴南一丁目39番1号

TEL (082) 848-8001

FAX (082) 848-8003

E-mail souriha@city.hiroshima.jp

理念

私たちは、利用者の皆様が住み慣れた地域でいきいきと心豊かな生活ができるよう、良質で信頼される総合的なリハビリテーションサービスを真心をこめて提供します。

基本方針

- 1 中途障害者の皆様の社会復帰や社会参加を促進するため、相談・評価から医療・訓練、就労援助までのリハビリテーションサービスを一貫した計画のもとに提供します。また、保健・医療・福祉の関係機関と連携を図り、地域におけるリハビリテーションを支援します。
- 2 利用者様一人ひとりの立場に立って悩みや希望を理解し、誠意を持った細やかな対応と良好な環境整備に努め、個人の権利を尊重したサービスを提供します。
- 3 病院は、専門スタッフが回復期を中心としたリハビリテーションにチームで取り組み、最適なリハビリテーション医療を提供します。また、インフォームド・コンセントを徹底し、安全で信頼される医療を提供します。
- 4 自立訓練施設は、家庭や職場、地域での生活を再構築するための通過型施設として、最適な相談・訓練等のサービスを提供します。

利用者の皆様の権利

あなたには、個人として尊重される権利があります。

あなたには、良質で安全な医療・福祉サービスを平等に受ける権利があります。

あなたには、あなたの症状や障害の状態、リハビリテーション計画について十分な説明と情報提供を受ける権利があります。

あなたには、リハビリテーション計画をあなたの意志で選択し、決定する権利があります。

あなたには、診断やリハビリテーション医療について、他の医師の意見を聞く権利があります。

あなたには、プライバシーが守られる権利があります。

Topics 理念・基本方針 利用者様の権利 新センター長挨拶 新事務長挨拶 新入職員紹介 育成会 ATMご案内 委員会紹介 行事食



● 新たな年度を迎えて

広島市総合リハビリテーションセンター
センター長(兼)病院長 村上恒二

リハビリテーションセンターは5年目を迎えました。古代インドでは、生涯を四住期と呼ばれる四つの時期に分けて考えています。1. 学生期(身分を成長させる期)、2. 家住期(結婚し、子供を産み育て、一方では社会人として仕事に打ち込む期)、3. 林住期(社会人として勤めを終えた後、すべてのものが萌えるもっとも輝く第二の人生、4. 遊行期(さらに年を取ったら死を見据える旅立ちが訪れる期)、の4つです。リハセンターは開設5年目といえば、まだまだ学生期に相当することは間違いありません。さらなる経験を積み重ねながら一層の発展をしていきたいものです。

日本経済新聞の特集記事で「私の履歴書」という欄がありますが、歌舞伎役者の松本幸四郎の最終稿に、成駒屋6世中村歌右衛門の言葉を紹介していました。「役者はうまくなるのではない。だんだん下手になってゆく。うまくなったと思うのは慣れからくる錯覚だ」と聞かされたそうです。この心に響く言葉から感じ取れることは、1. 基本を忘れない、2. 慣れがごまかしを生む、3. 緊張感を失わない、4. 謙虚さを失わない、5. 技術を磨く努力を怠らない・・・などなどがあるかと思えます。とどのつまり、この歌右衛門の戒めからは『いつも心に初心者マークを！～その仕事、初々しく謙虚で

すか?』こういったことが読み取れるかと思えます。

日々、仕事をする上でいつもこの言葉を思い浮かべながらさらに成長して、4つの時期の次なる時期「家住期」に入っていきたいものです。

回復期リハビリとは病院で回復した能力を自宅仕様に上げること、そして不活発にならないために廃用の悪循環を起こさせないことです。「攻めるも守るもこの一線・・・座位を保つこと」、「越えねばならぬこの一線・・・自宅に帰って、さらに外に出ること(社会参加)」と太田仁史先生は述べておられます。

重症者と中軽症者ではそれぞれ目標は異なりますが、常に高いゴールに挑戦すること、最良質のリハ提供で多様なニーズに応えることが求められています。このために私たちには四つのプロフェッショナルリズム、すなわち1. やむことのない向上心、知識や技量を常に高めようとする態度や生活。2. ヒューマニティー、患者さんが何を考え、どういう価値観を持っているかわかる感受性を持つ、3. 利他主義、自分のことはさておいて患者さんのために行動すること、4. 社会との関係性でアカウンタビリティ、つまり説明責任をきちんと果たせることが求められます。

(裏面へ続く)

さて、2012年度4月には、診療報酬と介護報酬の同時改定が行われました。回復期入院リハビリテーションでは新たに上位ランクの新入院料1（スーパー回復期）が新設され、看護配置を従来の15対1から13対1に引き上げ、リハビリ職の配置も手厚くすることが求められました。また、重症患者の割合も20%から30%に引き上げられ、日常生活機能評価点も30%以上の患者さんで退院時に3点から4点以上の改善に、さらに在宅復帰率の要件は60%から70%と厳格化され、7対1病棟など同様の看護必要度も新たに盛り込まれました。

これらの要件を満たせない医療機関は入院料2、あるいは入院料3へのランクダウンを余儀なくされ、入院料の単価が大幅に下がり、関係者の努力が報われないこととなります。今後は急性期病棟における平均在院日数の短縮化に伴い、重症の患者を受け入れる役割が回復期リハビリ病棟には早期に求められており、厳しい施設基準が設けられた形となっています。このことは、今回の見直しで、回復期リハビリ病棟が質の高いリハビリの提供を求められていることがより一層明確になったことであります。

今から百五十年ほど前、イギリスの動物学者であるチャールズ・ダーウィンは、ガラパゴス諸島に行き、進化論を説きました。

その中に、次のような一節があります。「この世で生き残ってきた動物はすべて、強い動物でもない。賢い動物でもない。それより、その時どきの環境の変化に対応出来た動物だけが、生き残ってきたのだ」と。

これは現代に生きる人間にとっても示唆に富んだ、素敵な言葉だと思います。百五十年前に様々な動物の生態を研究して学んだダーウィンは、時に応じて「変わる」ということが、一番強いことなんだよと、教えているのです。反対に、変われなかった生き物は滅びてしまったということで、これは「種」とどまらず、個々の人間にとっても大事なことです。そして企業や病院の存立、事業の永続に当たっても、示唆に富んだ言葉です。

変われることが、あらゆる生き物にとって一番の強みなのです。今回の診療報酬の改定では厳しいものが突き付けられましたが、時に応じて「変わる」ということが、一番強いことなんだと肝に銘じて「世のため、人のため、患者さんのため」に最良質のリハビリを提供する努力を絶え間なく続けていきたいと思ひます。

特集

今回は2012年度新入職員をご紹介します。きらきらひかるフレッシュな力を加えて、よりパワーアップを目指します。どうぞよろしくお祈りします。

【事務長新任のごあいさつ】

この度、事務長を拝命しました伊ヶ崎栄治（いかざきえいじ）です。どうぞ、よろしくお祈りいたします。

1 私のプロフィール

市役所生活30年あまり。うち約20年は税関係でした。税金の仕事は、いわば市役所の台所を預かる縁の下の力持的な仕事で、地味ながら非常に大切な仕事です。また、病院事業局での経験は平成7年からの8年間で、主に広島市民病院の病棟の建替えを担当しました。狭あいな敷地の中での建替えは困難な仕事でしたが、皆で力を合わせ知恵を絞って頑張った結果、今では立派な病棟やプロムナードができ、大きな満足感を味わっています。

性格は温厚明朗で、人と接することが大好きです。皆さんに気軽に声をかけさせていただきたいと思っていますので、皆さんからも気軽に声をかけて下さい。

2 総リハでの感想及び抱負

まず最初に感じたのはあいさつがすばらしいことです。「お早うございます」「お疲れ様です」とすてきな笑顔であいさつし合うのはとても良いことだと思います。

また、多くの職種、多くのプロ集団が患者さんのために力を合わせてチーム医療やリハビリを行っていることも、とても感動しました。私たち事務室の職員は、皆さんの一員として、各職種のよき潤滑油として一生懸命働きたいと思ひますので、よろしくお祈りいたします。



石松孝行（事務）
安佐南区農林課から参りました。イノシン駆除や農家さんが相手の職場から人の命に関わる病院への異動で大変緊張していますが、頑張りたいと思っておりますので、宜しくお願いします。
趣味：パチスロ

森口秀子（事務）
リハへの異動が決まった時「リハビリにいくんじゃね〜。」と周りの人に言われて「少しはのんびりと」の期待は消えた森口です。趣味は、エスキーツennisで、日曜日の午後牛田で練習しています。

櫻井理世（検査科）
趣味は「遊び」の櫻井です。理想の「理」に、世の中の「世」で「りよ」といいます。以前ミスユニバースで世界一になった方も理世さんでしたが、私をご覧になってがっかりされませんようにお願いします。

佐渡裕紀（MSW）
4月から総合相談室でお世話になっております。患者さんやご家族に相談してよかったと思っただけで、フットワークとネットワークで頑張ります。宜しくお願いします。

稲益紀子（1F看護師）
趣味は、買い物に行くことです。リハビリ看護は初めてで、色々とおわからないことばかりですが早く仕事に慣れるよう頑張ります。宜しくお願いします。

中井ひろみ（2F看護師）
家族がリハビリで御世話になり、こちらに興味をもちました。今は、電子カルテや自分のまわりすべてが180度ガラッと変わって別世界のようで戸惑いを隠せませんが、どうぞ宜しくお願いします。

上野泰彦（放射線科）
社会人1年目の若さ溢れる24歳です。趣味は、小学校の頃から始めているバレーボールです。今でも定期的に身体を動かしています。放射線科からフレッシュな風を吹かせたいと思います。

上田久美子（1F看護師）
回復期リハ病棟は初めてなので、いろいろ教えていただきながら成長できたらと思っています。趣味は家族旅行です。2児の母でもあり、子育てと仕事を両立して頑張りたいと思います。

濱子あかね（2F看護師）
皆さん（スタッフ、患者さん、ご家族問わず）から気軽に声を掛けていただけるような看護師を目指しています。趣味：空手。頑張りますので宜しくお願いします。

堺裕子（1F看護師）
回復期のリハビリを勉強する為に、希望で市民病院から参りました。趣味はカラオケです。今年の夏には孫ができる予定です。今後とも宜しくお願いします。

吉岡ゆかり（1F看護師）
趣味はバイクツーリングです。昨年の5月は広島から北海道まで花見をしながら走りました。その中で特にきれいだったのは、中野郭タワーから見下ろす星型の桜でした。宜しくお願いします。

永松栄子（2F看護師）
趣味は、冬はスノーボード。冬以外は、映画館に行っただけで映画をみることです。中学校から大学までバスケットボールをしてました。今は運動をしていないので体力がありません。宜しくお願いします。



川后秀則（理学療法士）
「せんこう ひでのり」です。患者様ご本人の「やる気」を引き出せる様、楽しいリハビリテーションを提供したいと思います。宜しくお願いします。趣味：バトミントンと野球のコーチ

大畑俊祐（理学療法士）
私は免許を取って、1年目でまだやれることも少ないので、多くの知識や技術を学び、少しでも患者様の為のリハビリを行えるように努力します。趣味はサッカー、フットサルです。もし機会があれば御誘い下さい。

山本和博（作業療法士）
山口県出身です。趣味は小さい頃からサッカーをやっていたので体を動かすことが好きです。病院では、患者様のお役に立てるように日々努力し頑張っていきたいと思ひます。

伊藤昌志（理学療法士）
趣味は読書やパソコンといったインドア派なのですが、こちらで働き始めてから何かモノマネをする機会が増えつつあります。至らない点も多いと思いますが、宜しくお願いします。

富田貴之（作業療法士）
趣味は体を動かすことですが、最近、自転車にはまっています。誰か一緒に走りましょう。広島県には久しぶりに帰ってきましたが、新たな気持ちで頑張りたいと思ひますので宜しくお願いします。

富田貴之（作業療法士）
趣味は体を動かすことですが、最近、自転車にはまっています。誰か一緒に走りましょう。広島県には久しぶりに帰ってきましたが、新たな気持ちで頑張りたいと思ひますので宜しくお願いします。

松重喜久恵（理学療法士）
患者様を笑顔にできるように、自分にできることから一歩一歩、色々なことにチャレンジして頑張っていきたいです。趣味：スポーツ（バスケット・バレー・サッカーなど）・アウトドア

進雄平（作業療法士）
福岡県出身の25歳。趣味はバスケットボールです。沼田の方で妻と11ヶ月になる子ども3人で過ごしています。利用者さんの笑顔を大切に、コミュニケーションを沢山とっていきたくと思っています。よろしくお祈りします。

戸倉瑠美（自立支援科）
皆さんに早く名前を覚えてもらえるように頑張ります。今年はいろいろなことに挑戦して、充実した一年にしたいと思ひます。趣味：バスケットボール、食べ歩き、スポーツ観戦

三好麻由（言語聴覚士）
趣味はイラストを描くこと、本屋巡り、バレーボールです。患者様の笑顔に出会えるよう、日々精進してまいります。頑張りますので宜しくお願いいたします。

新保美生（言語聴覚士）
6月から勤務しております。言語聴覚士の新保です。趣味はスノーボードと映画鑑賞で、最近ダイエットも兼ねてヨガを始めました。まだ効果は出ていませんが…。まだまだ至らないとは思いますが、頑張りますので宜しくお願いします。